

## 城南区

### 共創による防災力の強化

95万円

大規模災害の発生に備えるため、防災訓練や出前防災教室等を通して、共助及び自助の能力強化を行います。

また、地域・大学・区役所の共創による災害時の初動体制の整備及び避難所運営能力の強化を推進します。



### 健康長寿へのチャレンジ事業

62万円

健康寿命の延伸のために、生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム予防、認知症予防に効果のある運動を継続的に実践する人を増やすため、65歳未満の方を対象に休日や夜間に運動教室を開催します。



## 早良区

### 早良区版地域包括ケアの推進

327万円

人生100年時代を見据えて、公民館と自治協議会、地域の医療・介護の専門家等の共創による「介護の備え講座」(9校区)や、認知症に関する映画の上映会を行います。

また、それらの取り組みを振り返り、成果と課題を共有する「いきいきサミット」を開催します。



### 共創による地域防災力の強化

119万円

地域・西南学院大学・区役所の共創により、女性の視点を活かした避難所運営や、子育て世代のための防災に関する学習などを5校区合同で行います。

また、校区の避難所運営力を高めるため、校区単位での実践的な避難所運営訓練(5校区)を実施します。



防災ママミーティング

## 西区

### 「西祭 (SaiSai) ~西区みんなで つくる文化祭」の開催

184万円

西区市民美術展等のほか、西祭のスペシャルイベントとして、九州大学の伊都キャンパスへの移転完了(平成30年9月予定)を記念し、九州大学吹奏楽団と西区市民吹奏楽団のジョイントコンサートを開催します。

### 「超高齢化を支える西区サミット」の開催

13万円

高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けるための取り組みや工夫を“オール西区”で共有し、地域包括ケアシステムを推進するため、講演、実践報告等を開催します。



# ② 福岡市の財政状況はどんなの？

## ●借金(市債)はいくらあるの？

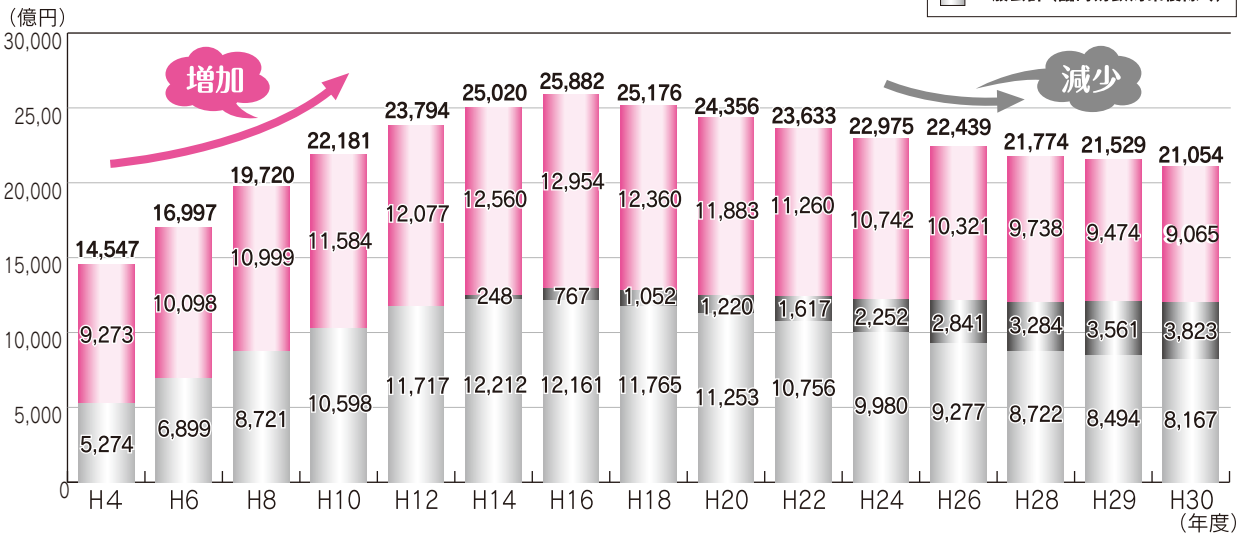
市の借金※は、およそ 2 兆 1,000 億円。

市の市債残高※は、平成 4 年には 1 兆 5,000 億円程度でしたが、次第に増加し、最大時の平成 16 年度末には 2 兆 5,000 億円以上になりました。

その後、毎年、新たに発行する市債の額を抑制することなどにより、市債の残高※は減ってきており、平成 30 年度末には 2 兆 1,000 億円程度になる見込みです。

### ■市債残高の推移 ※満期一括積立金を除いた残高

全会計 ～H28:決算額 H29:最終予算額 H30:当初予算額



### ◎満期一括積立金を含む全会計市債残高の推移

年度	H4	H6	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H29	H30
(億円)	14,547	16,997	19,730	22,285	24,229	25,889	27,092	26,333	25,500	24,934	24,508	24,098	23,436	23,356	22,934

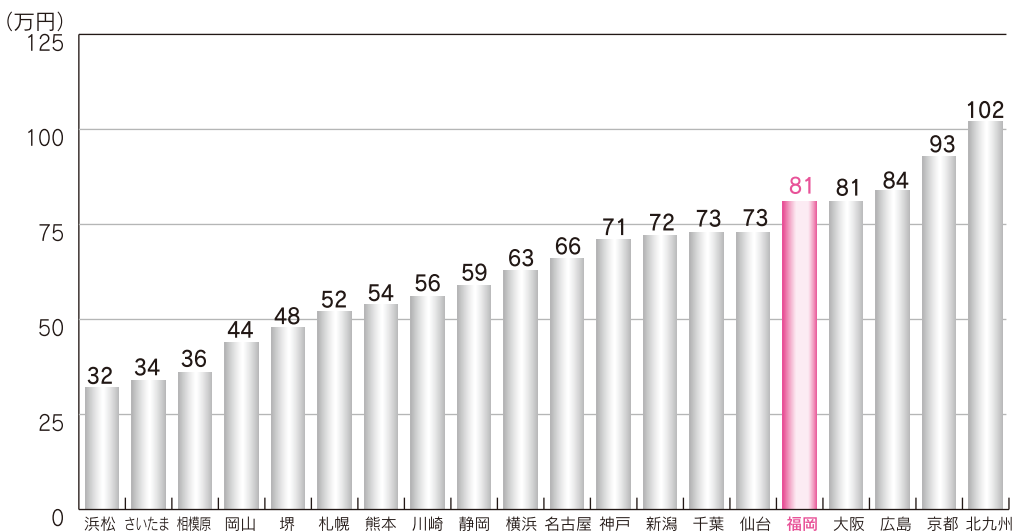
## ●他の政令指定都市と比べるとどうなの？

市民一人あたりの市債残高※は、約 81 万円。

普通会計ベースの市債残高※は、政令指定都市の中でも高い水準にあり、市民一人あたりに換算すると 5 番目に多くなっています。

※普通会計(各団体間の適切な比較や統一的な把握ができるよう、全国統一的な基準により用いられている会計区分)ベースの残高

### ■市民一人あたり市債残高の比較(H28: 決算額、普通会計)



### ■市債残高の比較 (H28: 決算額、普通会計) (億円)

1	横浜	23,584
2	大阪	21,859
3	名古屋	14,899
4	京都	13,134
5	福岡	12,266
6	堺	4,077
7	熊本	3,979
8	岡山	3,121
9	相模原	2,599
10	浜松	2,577

※平成29年3月31日現在の登録人口(住民基本台帳登録人口)

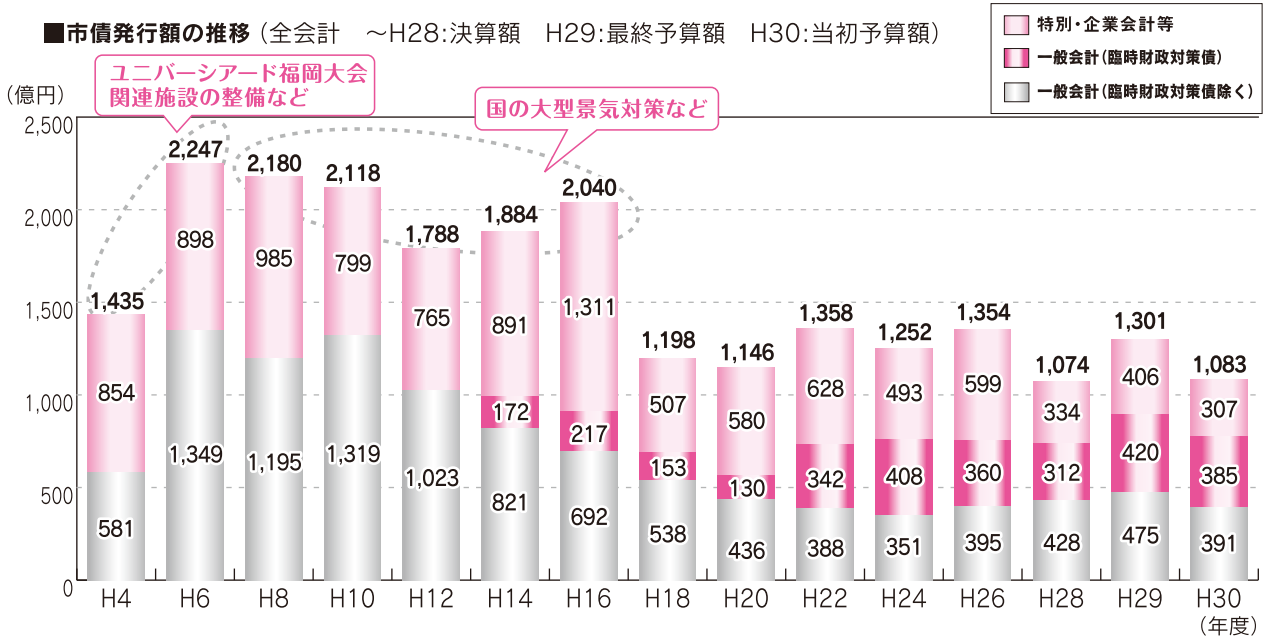
## ●なぜ借金(市債)が増えたの？

近年、下水道や道路、地下鉄などの整備を積極的に行ったため、市債残高が増加。

福岡市では、国の景気対策とも連動し、立ち遅れていた都市基盤・生活基盤(道路・下水道・文化・スポーツ施設等)の整備を、市債を活用して積極的に推進してきました。

市民生活向上に寄与する社会資本整備が飛躍的に向上した反面、市債残高は急激に増加しました。

■市債発行額の推移 (全会計 ～H28:決算額 H29:最終予算額 H30:当初予算額)



■市の社会資本の整備水準

	平成4年度		平成28年度	
	数値	順位※注1	数値	順位※注2
都市計画道路の整備率	41.2%	12位	82.7%	5位
一人あたりの公園緑地面積	7.65㎡/人	4位	8.4㎡/人	9位
下水道普及率(人口普及率)	93.2%	6位	99.6%	5位

※注1: 平成4年度当時の政令指定都市12都市中の順位。(東京都(区部)を除く)

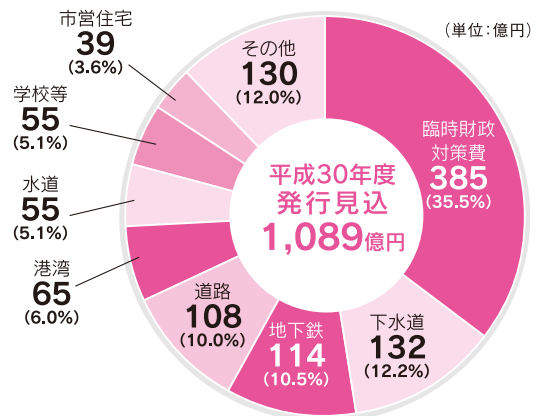
※注2: 平成28年度当時の政令指定都市20都市中の順位。(東京都(区部)を除く)

## ●借金(市債)は何に使っているの？

主に下水道や道路など、将来世代の市民も使う公共施設をつくるために使用。

借金(市債)は、主に何十年の長期にわたって使用する公共施設をつくるための財源となっています。その理由は、下水道や道路などの長期にわたって使用する公共施設については、施設をつくる年の市民だけで全ての建設費用を負担するのではなく、施設を使用して便益を受ける将来世代の市民にも負担してもらうことが公平だと考えられるためです。

■市債発行額の内訳



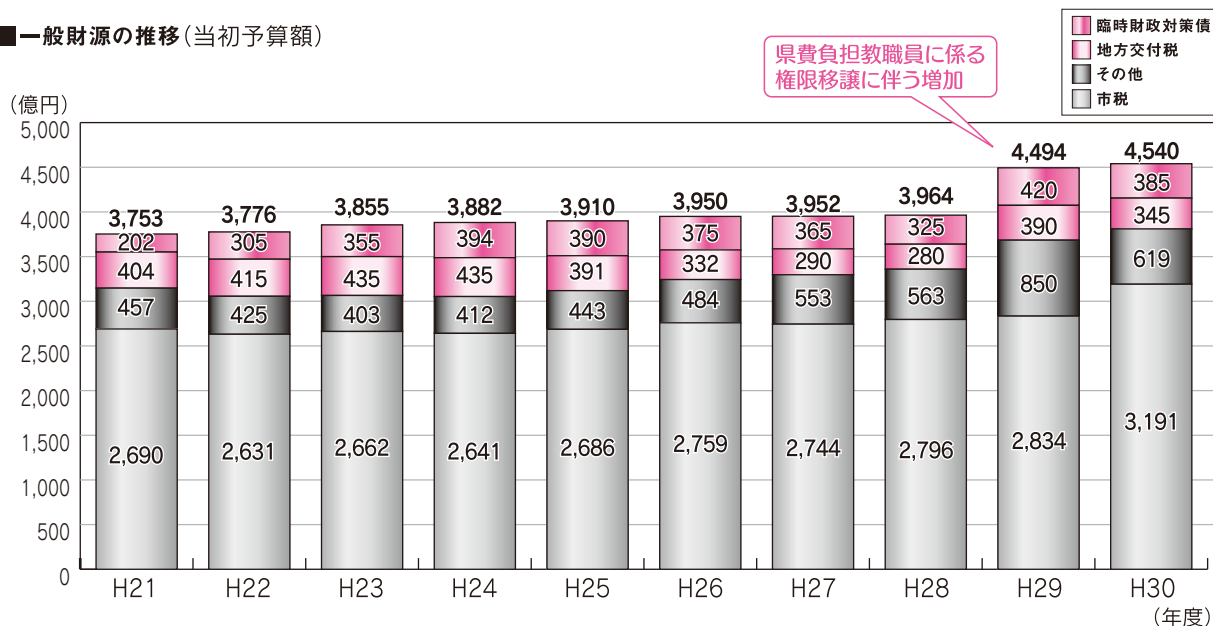
## ●収入や支出はどうなってるの？

### 収入

#### 一般財源は横ばい傾向。

市税収入は、個人市民税における県費負担教職員に係る権限移譲に伴う税率変更の影響及び納税義務者数の増加などにより、過去最大の規模となりました。しかし、市税収入の増加等に伴い、地方交付税等が減少傾向にあるため、一般財源全体としては微増の傾向にあります。

#### ■一般財源の推移(当初予算額)



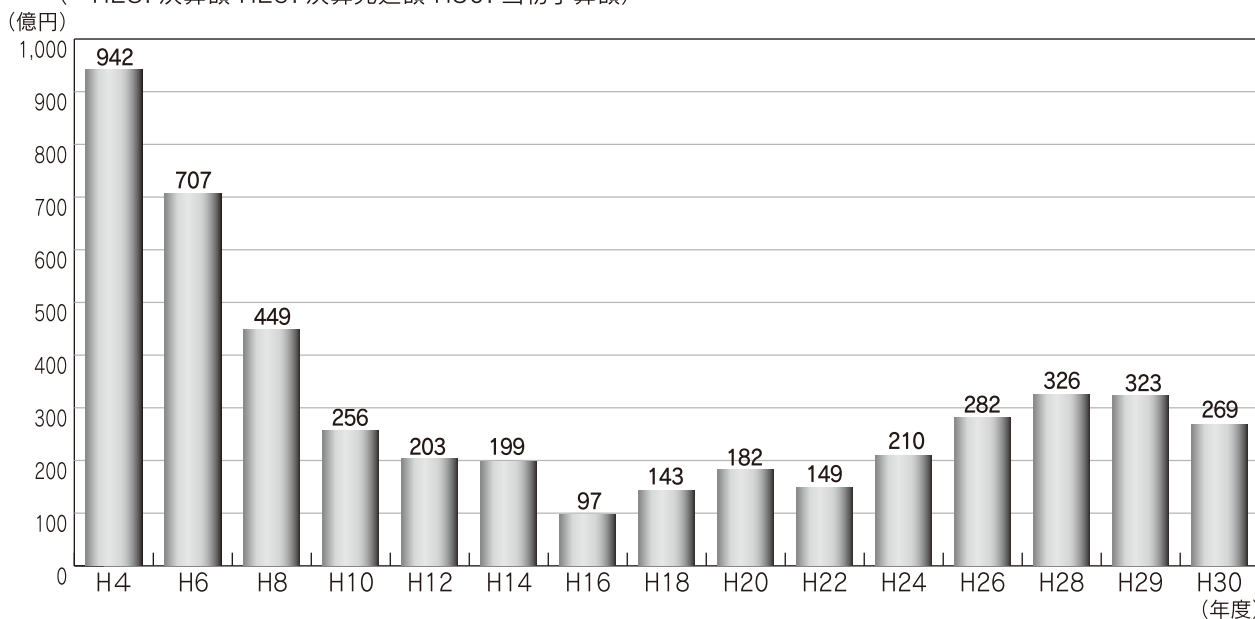
県費負担教職員に係る権限移譲に伴う増加

#### 財政調整用基金(貯金)の残高は、現在300億円前後で推移。

国の三位一体改革に伴う歳入の大幅減等により、H16年度には100億円を割り込みました。しかし、近年は、財源に余裕がある場合や決算の剰余金が発生した場合に積み立てを行い、残高は260億円台にまで回復しています。

#### ■財政調整用基金残高の推移

(～H28: 決算額 H29: 決算見込額 H30: 当初予算額)



#### 用語の解説

##### 財政調整用基金

年度間の財源の不均衡等を調整するための基金です。財源に余裕のある場合や、決算剰余金が発生した場合に積み立てを行います。経済情勢の変動により、財源が不足する場合や災害発生などにより緊急に支出が必要な場合等に取り崩します。

# 支出

## 収入が大幅に伸びない中、義務的経費の支出が高止まり、財政が硬直化。

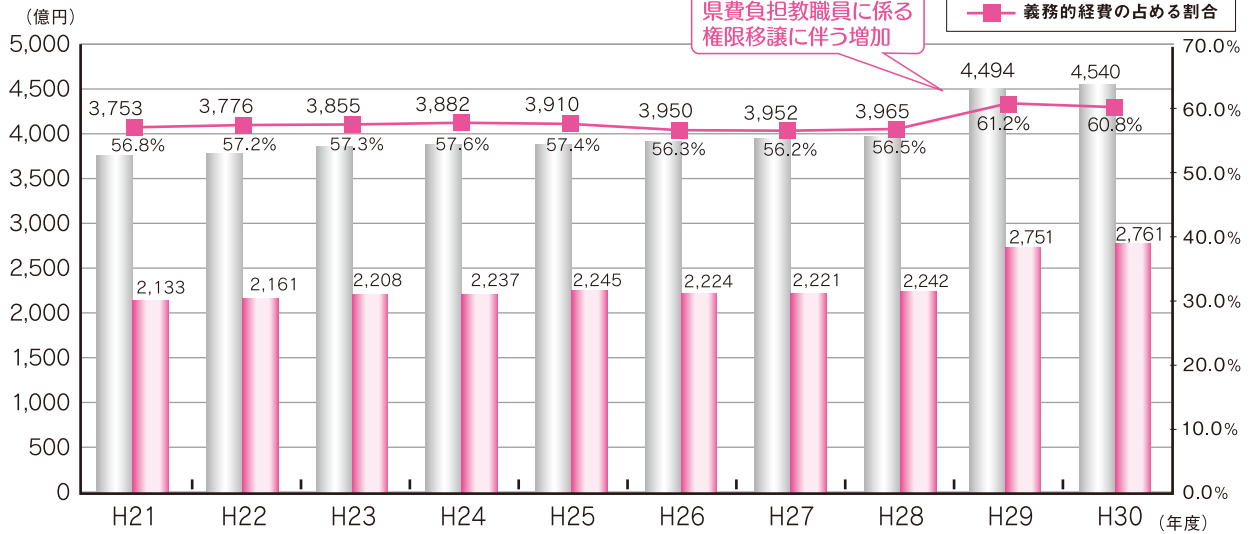
福祉や医療などの固定的な経費(義務的経費)が増加し、新しい事業への投資に使えるお金が少なくなっています。

### 用語の解説

#### 義務的経費

歳出において、人件費、扶助費(生活保護費などの医療・福祉経費)、公債費(借金の返済)を合わせた毎年必要な固定的な経費です。

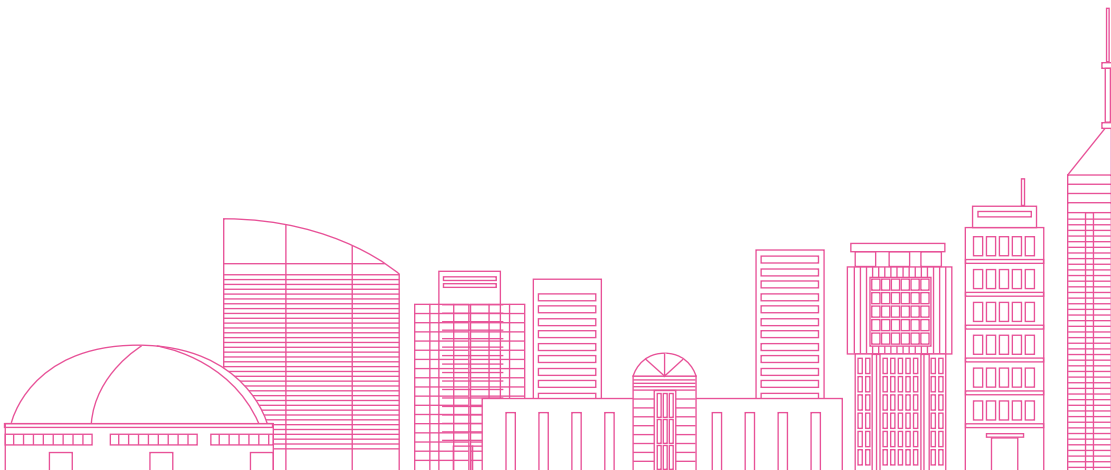
■歳入のうち一般財源に占める義務的経費の割合  
(当初予算額)



## ●福岡市の財政状況のまとめ

### 福岡市の財政状況の特徴は、

- 市債残高(借金)は確実に減少しつつありますが、他の政令市と比較して依然として高い水準にあります。
- 自由に使うことのできる一般財源は、県費負担教職員に係る権限移譲に伴う影響により増となっていますが、教職員に係る人件費が大幅に増加するとともに、扶助費などの義務的経費が年々増加傾向にあります。福岡市の財政は依然として楽観できる状況にはありませんが、将来の世代に過大な負担を残さないためにも、健全な財政運営の取組みを着実に進めていく必要があります。



# ③ 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

※今後の財政運営の指針となる『財政運営プラン(平成29年6月策定)』より抜粋

## ● 財政の現状と見通しは？

### < 主な社会情勢の変化 >

- 老年人口（65歳以上）が増加し、生産年齢人口の割合が低下  
特に、75歳以上（後期高齢者）は10年間で1.5倍に
- 保育所等入所児童、生活保護世帯、障がいのある方が引き続き増加していく見込み
- 昭和40～50年代に整備した公共施設等の老朽化の進行



### < 本市財政の見通し >

- 伸び続ける社会保障関係費
  - ・ 医療や介護保険への公費負担の増加
  - ・ 福祉サービスに必要な公費負担の増加（生活保護、児童福祉、障がい福祉等）
- 公共施設等の改修・修繕に係る経費の増加
- 高止まりを続ける公債費
- 大幅な伸びが期待できない一般財源

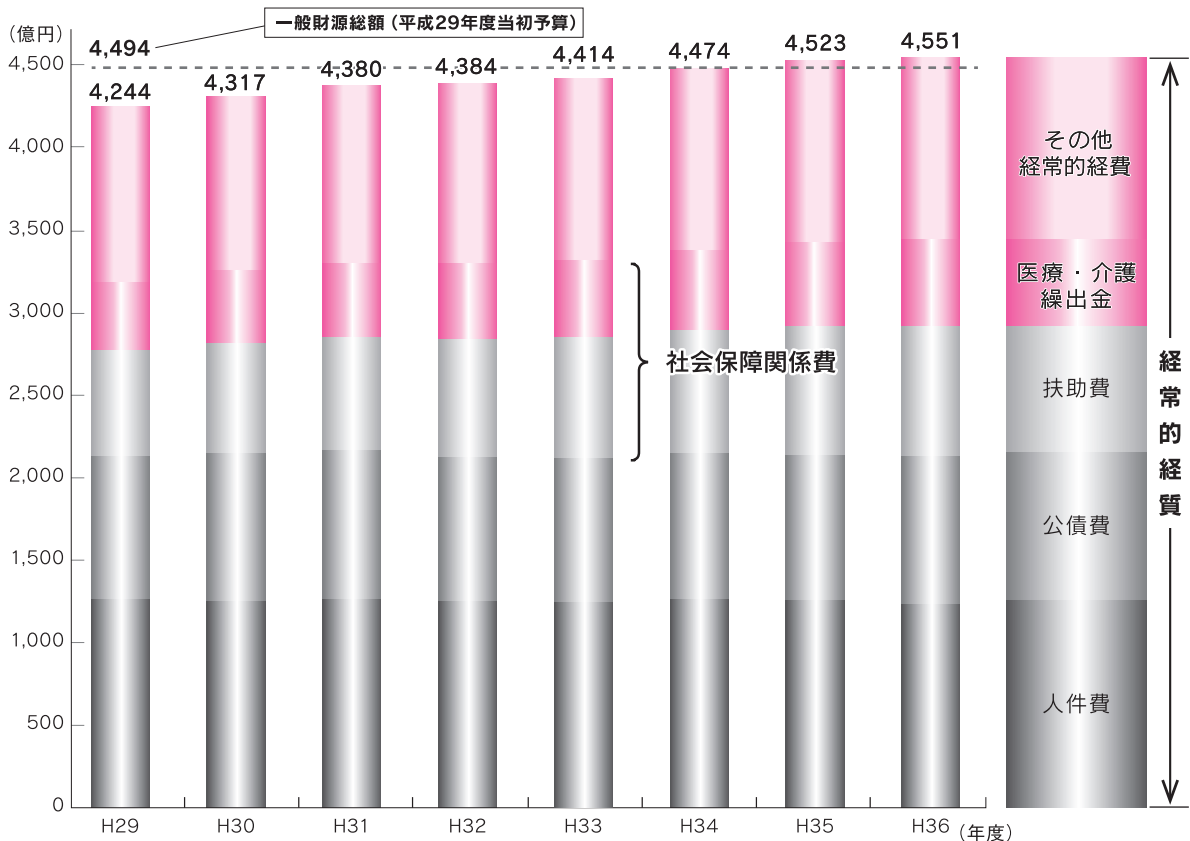
※一般財源：市税収入など、用途が特定されておらず、市の裁量で使用することができる財源

本市財政は、依然として楽観できる状況にない



将来にわたり持続可能な財政運営を目指した取組みを進めていく必要がある

## ■ 経常的経費に要する一般財源の見通し(試算)～平成29年3月時点の制度等を前提とした姿～



## ●将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？

(基本的な方針)

- 本市財政の見通しを踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題に対応するために必要な財源を確保できるよう、政策推進プランに基づき投資の選択と集中を図るとともに、歳入の積極的な確保や行政運営の効率化、既存事業の組替えなどの不断の改善に取り組みます。
- また、中長期的に、「生活の質の向上」と「都市の成長」のために必要な施策事業の推進により税源の涵養を図りつつ、超高齢社会に対応する持続可能な仕組みづくりやアセットマネジメントの推進、市債残高の縮減に向けた市債発行の抑制などにより、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組みます。

### (主な取組み)

#### 取組1 歳入の積極的な確保

- ①収入・収納率の向上等
- ②市有財産の有効活用等による税外収入の確保

#### 取組2 行政運営の効率化

- ①人件費の抑制
- ②企業会計・特別会計における見直し
- ③外郭団体等の見直し

#### 取組3 役割分担、関与の見直し

- ①ガイドラインに沿った補助金の適切な運用
- ②国・県との財政負担の適正化
- ③規制緩和による民間活力の誘導

#### 取組4 行政サービスのあり方の転換

- ①個人給付施策の再構築
- ②受益者負担のあり方の検討

#### 取組5 公共施設等の見直し

- ①施設の維持管理コストの縮減
- ②公共施設等の老朽化への適切な対応
- ③施設の必要性・あり方を見直し

#### 取組6 市債発行の抑制、市債残高の縮減

- ①長期的な市債残高の縮減に向けた発行抑制

## ●将来にわたり持続可能な財政運営に向けた平成30年度における取組みは？

### (1)財源の確保

平成30年度の予算編成においては、「歳入の積極的確保」や「行政運営の効率化」などの取組みを進めることで、約57億円の財源を確保しました。

平成30年度財源確保額(一般財源ベース、百万円):5,727

#### 1 行政運営の効率化 963

- ①人件費の抑制 ..... 11
  - ・民間活用の推進 など
- ②企業会計・特別会計における見直し ..... 769
  - ・モーターボート競走事業収益の確保による一般会計への繰出金の増 など
- ③その他行政運営の効率化 ..... 183
  - ・福岡観光コンベンションビューローの事業内容等の見直し
  - ・国際交流財団の職員配置の見直し
  - ・デジタル無線設備に係る保守内容の見直し など

#### 2 歳入の積極的な確保 3,838

- ①収入・収納率等の向上 ..... 1,523
  - ・市税収入率の向上 [H29 97.8% → H30 98.2%]
  - ・市営住宅使用料収納率の向上 など
- ②市有財産の有効活用 等 ..... 2,315
  - ・未利用地等の売却・貸付 など

#### 3 その他公共施設の見直し 等 926

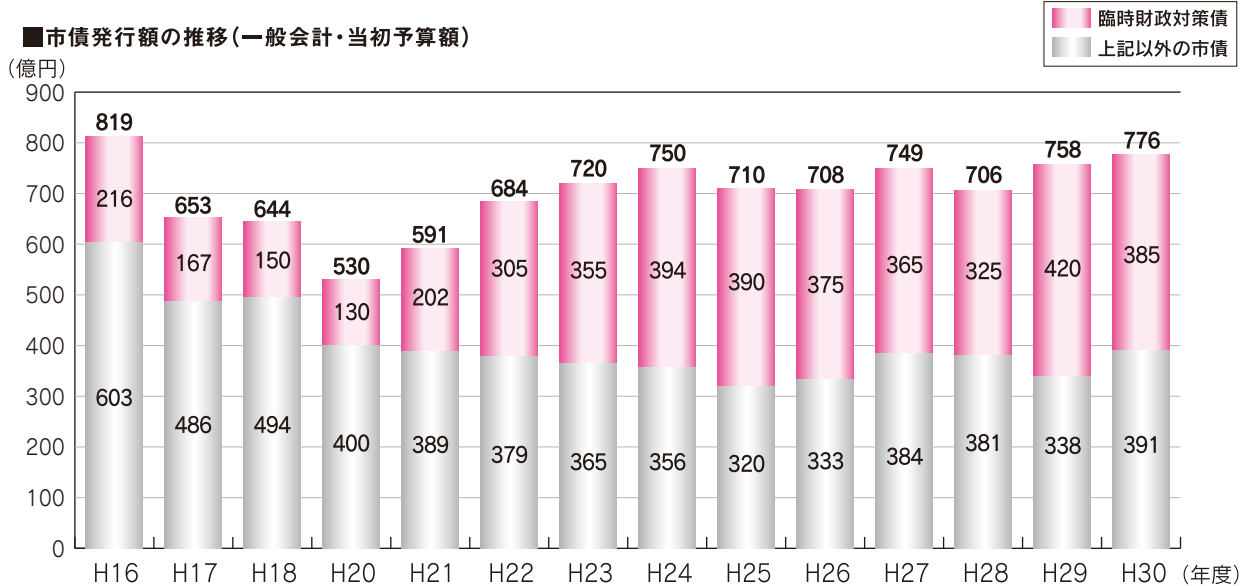
- ・道路占用料等の改定
- ・道路照明のLED化による電気料金の縮減
- ・ロボスクエアの閉館 など



## (2)市債発行額の抑制

平成30年度の一般会計の市債発行額は776億円で、学校施設改修等に係る教育債の増加(+56億円)により、29年度当初予算額から18億円増加しました。

■市債発行額の推移(一般会計・当初予算額)

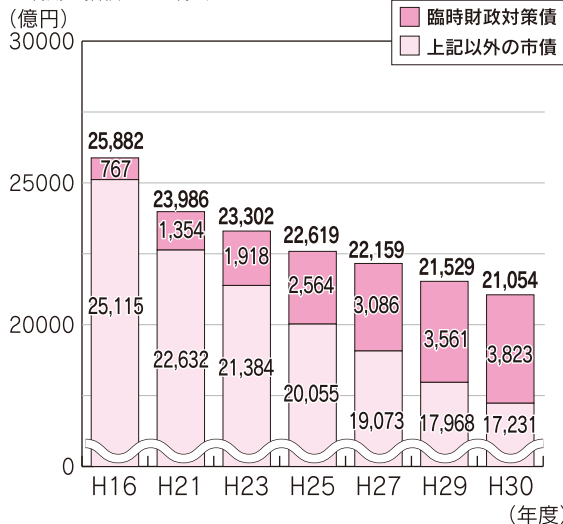


平成30年度末の満期一括積立金(※1)を除く全会計市債残高見込額から国が償還額を全額地方交付税措置する臨時財政対策債(※2)の残高見込額を除いた額は、ピーク時の平成16年度末より7,884億円縮減しています。

また、その市民一人あたり市債残高見込額は、平成16年度末から約72万円減少し約113万円となります。

■市債残高の推移(全会計)

(~H27: 決算額 H29: 最終予算額 H30: 当初予算額)  
※満期一括積立金を除く

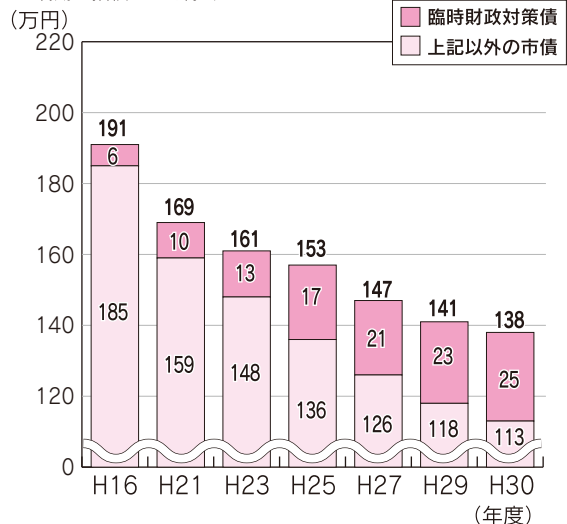


◎満期一括積立金を含む全会計市債残高の推移

年度	H16	H21	H23	H25	H27	H29	H30
(億円)	27,092	25,158	24,695	24,190	23,796	23,356	22,934

■市民一人あたり市債残高の推移(全会計)

(~H27: 決算額 H29: 最終予算額 H30: 当初予算額)  
※満期一括積立金を除く



◎市民一人あたり市債残高の推移(満期一括積立金を含む全会計)

年度	H16	H21	H23	H25	H27	H29	H30
(万円)	200	177	171	164	158	153	150

H16 ~ H27 は当該年度末日現在の登録人口、H29、30 は H29.12 月末現在の登録人口

※1 満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたもの。

※2 臨時財政対策債は、国が地方交付税として交付する代わりに、地方に自ら市債を発行させ財源を調達するもの。その償還(返済)にあたっては、後年度に国から全額地方交付税で措置されます。

# 宝くじを購入される際は、 ぜひ福岡県内でお求めください。



宝くじの収益金は、市民の身近な  
公共事業等に有効活用されています。

## 宝くじについてのお問い合わせ

福岡市財政局財政部総務資金課

電話：092-711-4163

Eメール：somushikin.FB@city.fukuoka.lg.jp

## 財政・予算に関する資料

●福岡市ホームページ <http://www.city.fukuoka.lg.jp>

- ▶ 財政状況については 市政全般→予算・決算・市債・寄付等→「決算」あるいは「財政の概要」
- ▶ 予算については 市政全般→予算・決算・市債・寄付等→「予算」

## 財政・予算についてのお問い合わせ

●福岡市財政局財政部財政調整課

電話：092-711-4166

ファックス：092-733-5586

Eメール：zaisei.FB@city.fukuoka.lg.jp

〒810-8620 福岡市中央区天神1-8-1

ご意見やご提案をお寄せください。